

スペシャル・セッションのご案内 (1991年度秋季大会)

1. テーマ

「モンスーンアジアの水循環～ユーラシア大陸の存在の中で～」

2. 趣旨説明

インド洋・南アジア～西太平洋域、および梅雨・秋雨前線周辺域にわたるアジアモンスーンは、地球規模の視点でみて特に興味深い水循環システムの1つであり、これまでの学会でも、熱帯気象、総観・中小規模現象、等の各セッションで別々には多くの発表がなされてきた。アジアモンスーンは、ユーラシア大陸とその周辺海域との間の南北・東西の大規模な海陸コントラストに伴う様々なプロセスの絡み合いを反映した現象であり、その絡み方について統一的に理解を深めるにも、熱帯モンスーンと梅雨・秋雨前線、やませと関連した現象等を同一のセッションで扱う意味がある。また、ユーラシア大陸には、チベット・ヒマラヤ、砂漠・半乾燥地域(中国、東シベリア)、等の雪氷も含めた地表面状態の大きく異

なる地域が隣接し、「広域地表面過程と水循環」研究の絶好のテストフィールドでもある。そこで、熱帯・中高緯度を含めたアジアモンスーンと(寒候期も含む)、ユーラシア陸面過程と水循環、等の問題を1つのセッションに集めて取上げることを企画した。今回のシンポジウムのテーマともかなり関係が深いので、理解を深めるには好都合と思われる。

グローバル熱帯モンスーン、梅雨・秋雨、チベット・ユーラシアの雪氷、広域陸面過程、関連した大気海洋相互作用、等に関する様々な手法・立場の研究発表を通して、アジアモンスーンを新しい視点で見直す機会になることを期待しています。

3. 呼びかけ人

加藤内蔵進(名古屋大学・水圏科学研究所)

安成 哲三(筑波大学・地球科学系)

村上 勝人(気象庁気象研究所台風研究部)

大畑 哲夫(名古屋大学・水圏科学研究所)

秋季大会への参加と予稿集の申し込みについて

秋季大会事務局

大会への参加と予稿集の申し込み方法が変更になりました。10月23～25日に名古屋で開催される秋季大会への参加および懇親会、予稿集は、下記により申し込んでください。なお、申し込みを受付けた後は取消できませんので、ご了承ください。

記

大会参加：事前の申し込みを原則とします。

「天気」6月号に綴じ込みの葉書に必要事項を記入のうえ投函してください。

申し込み締切は9月20日(金)、必着。

大会参加費

| | 予約申し込み | 当日受付 |
|------|--------|--------|
| 会 員 | 2,000円 | 2,500円 |
| 学生会員 | 1,000 | 1,500 |
| 会員外 | — | 2,500 |
| 懇親会費 | 5,000 | 5,200 |

予稿集

定期購読者でない方は、日本気象学会事務局へ FAX または官製葉書で申し込んでください。今後定期購読を希望される方は、その旨明記してください。予稿集は印刷部数が限られていますので、大会当日は売り切れとなることがあります。申し込み締切は9月20日(金)、必着。

FAX 番号 03-3216-4401

頒布価格

| | 今回だけ | 定期購読 |
|------|--------|--------|
| 個人会員 | 2,300円 | 2,000円 |
| 団体会員 | 2,500 | 2,200 |
| 会員外 | 2,500 | — |

なお、大会参加費、懇親会費、予稿集代は、年会費の請求のとき(年末ごろ)に一括して支払っていただきます。